様式３(2015.06改)

作成日　平成29年9月15日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000415
事業所名	グループホーム猿投の楽園

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	複合施設の一部として開設されたグループホームであり、行政や地域からの期待も大きく、複合施設としての特徴を活かした地域展開である。 常時見学者が多く、施設全体の行事には来場者も多い。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	開設以来2ケ月に1回の開催を続け、会議メンバー全員が皆勤と協力的である。 ホームが抱える課題や問題点の討議は少なく、地域密着型サービスを正しく理解してもらうための説明や報告が議事の中心である。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	運営推進会議に地域包括支援センター職員が出席し、ホームの状況は行政に報告されている。 事業者講習会・事業者連絡会等の行政主催の会合に積極的に参加し、役所との協力関係を構築している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族アンケートの結果は良好であった。 15名の家族が回答し、殆どがホームに協力的である。 コメント欄に『スタッフが良くしてくれ、家族の要望も受け入れてくれる』『本人の顔も明るくなった』等、賞賛の言葉が多い。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	―
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	○		